

お客様用

GR リヤウイングの取扱書

この度はGRリヤウイングをお買上げいただきありがとうございます。
本書にはGRリヤウイングで採用しているカーボン(CFRP^{*1})製部品の取り扱いについて記載してあります。
ご使用前に必ずお読みいただき、正しい取り扱いをお願いします。
本書は紛失しないよう車の中に保管してください。

■ 素材特性について

- (1) カーボン素材の特性上、カーボン繊維の織り目の濃淡や乱れ、うねりが見える場合があります。
- (2) カーボン素材は、長時間にわたって紫外線を受け続けるとカーボン内の樹脂が白濁したり、黄ばんだりする場合があります。
- (3) カーボン(CFRP^{*1})製部品は強いチカラが加わると剥離・変形する場合があります。

■ 取り扱い上のご注意

- ⚠注意 (1) カーボン(CFRP^{*1})製部品の表面を研磨剤入りワックスやシンナーなどの有機溶剤で拭かないでください。白濁の原因になります。
- ⚠注意 (2) 汚れが付着した場合、柔らかい布などで早急に取り除いてください。
- ⚠注意 (3) カーボン(CFRP^{*1})製部品の白濁・黄ばみを防ぐため、直射日光のあたる場所での保管や長時間の駐車はなるべく避けてください。
- ⚠注意 (4) 製品に無理なチカラをや荷重がかからないように注意してください。車両や本製品の破損の原因になる場合があります。
- ⚠注意 (5) トランク開閉時にステー部やウイング本体を持たないでください。車両や本製品の破損の原因になる場合があります。

■ 洗車および日常のお手入れ

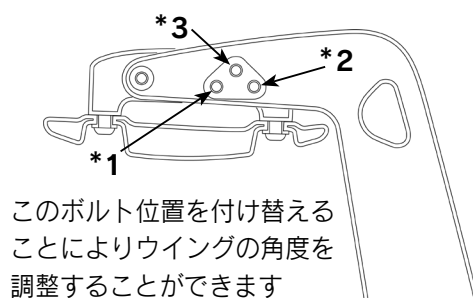
塗装の質感を保つため、手洗いをお願いします。

- (1) 洗車は水を十分にかけてながら車両の上側から下側に汚れを洗い落としてください。
- (2) 汚れがひどいときは中性洗剤を使用し、水で十分洗い流してください。
- (3) カーボン(CFRP^{*1})製部品は柔らかい布で軽く洗い、強く擦らないでください。
- (4) 洗車後の水分は十分に拭き取ってください。
- (5) 洗車機は使用しないでください。車両や本製品の破損の原因になる場合があります。

*1 CFRP : Carbon Fiber Reinforced Plastic (炭素繊維強化プラスチック)

■ GR リヤウイングの角度調整について

*1	標準位置
*2	ウイング 1.25°
*3	ウイング 2.5°



⚠ 注意

- ・角度調整後は車両の挙動変化に注意してください。

👉 アドバイス

- ・取付けは、いじり止めトルクスレンチ T30 にて規定トルクで締め付けてください。
【締付トルク 5 N・m】

MS342-18009 GR リヤウイング

取付・取扱要領書

このたびは GR リヤウイングをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本書には本商品の取付け・取り扱いについての要領と注意事項を記載してあります。
取付け前に必ずお読みのうえ、正しい取付け・取り扱いを実施してください。
なお、本書は必ずお客様にお渡しください。

●本商品は未登録車への取付けはできません。取付けは必ず車両登録後に行ってください。

■ 品番・適合車種

品番	適合車種	型式	備考
MS342-18009	GR86 '21/10～	ZN8	

・最新の適合情報は TRD カタログをご覧ください。 <https://www.trdparts.jp/>

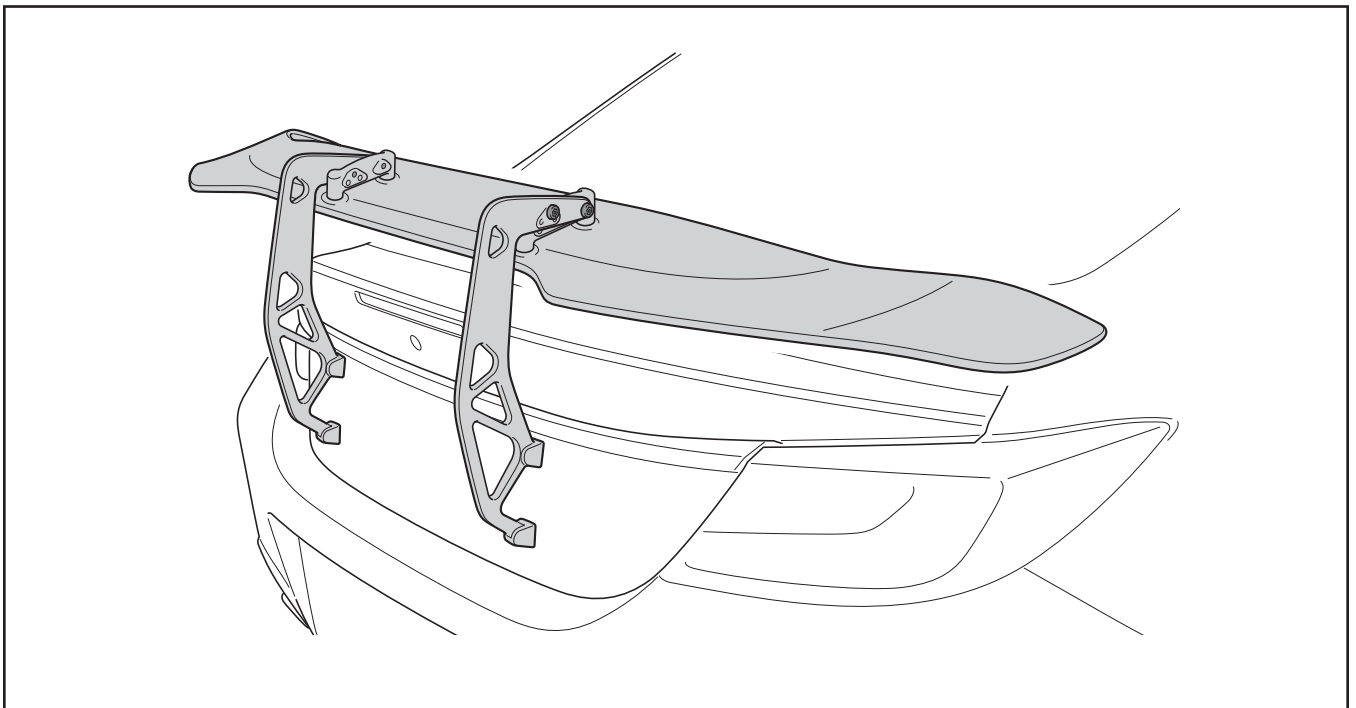
■ 取付けに必要な工具・保護具・消耗品

- ・一般工具 ・トルクレンチ ・ヤスリ ・スケール ・軍手 ・保護シート ・保護テープ
- ・養生テープ ・マスキングテープ ・ドリル (3.0、4.1、8.0mm) ホルソー (Ø20) ・リッター

■ 目次

1. 表紙、適合表、構成部品表、構成部品図、目次、取付けに必要な工具・保護具・消耗品 . . . 1～2
2. 取付け・取り扱いご注意 (作業者の方へ)、保証について 3
3. 取付け要領 4～11
4. 取付け完了後の点検・注意事項 11

■ 取付構成図



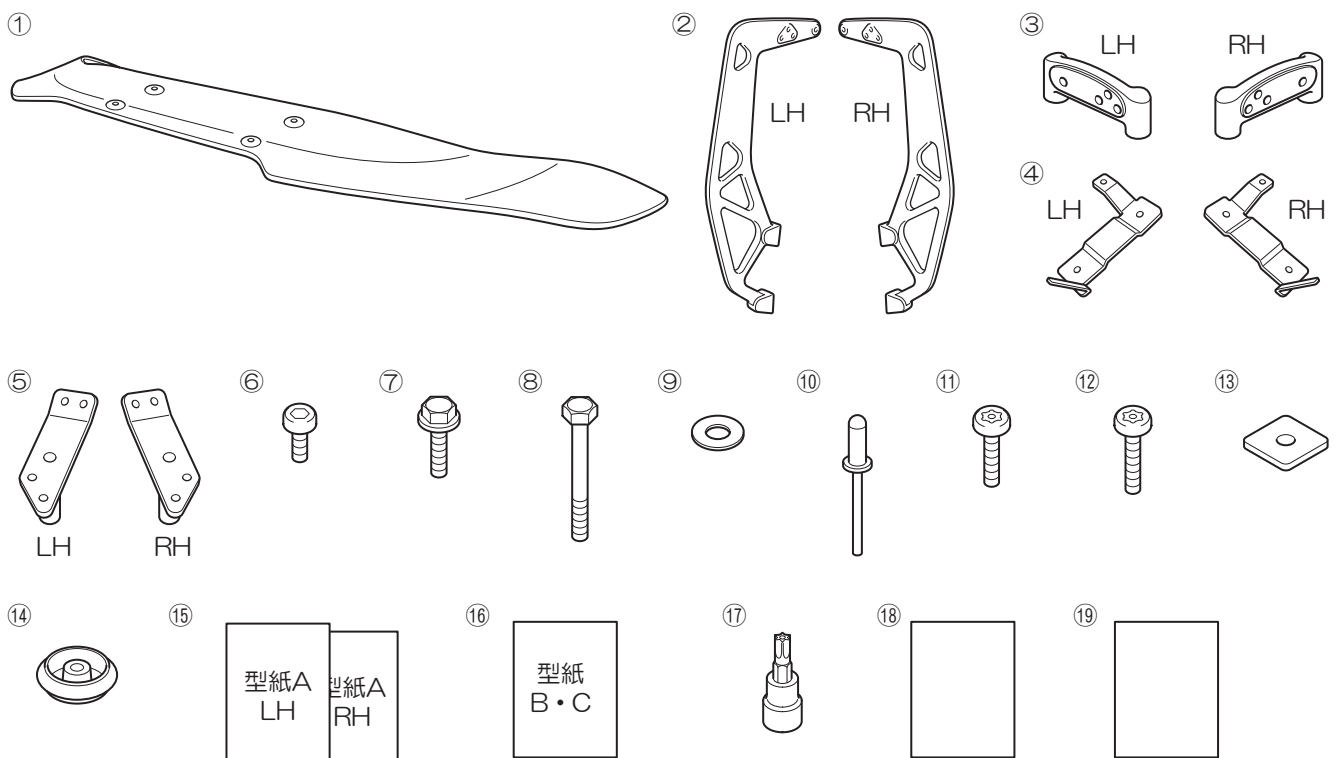
■ 構成部品

No.	品名	個数	備考
①	ウイング本体	1	CFRP
②	ブラケット A (LH / RH)	各 1	
③	ブラケット B (LH / RH)	各 1	
④	リテーナー A (LH / RH)	各 1	
⑤	リテーナー B (LH / RH)	各 1	
⑥	キャップボルト	2	M6 × L12
⑦	フランジボルト	2	M6 × L16
⑧	ボルト	2	M6 × L65
⑨	ワッシャー	4	M6
⑩	リベット	8	
⑪	トルクスボルト	4	M6 × L20
⑫	トルクスボルト	4	M6 × L25
⑬	エプトシーラー	4	
⑭	ホールプラグ	2	
⑮	型紙 A (LH / RH)	各 1	トランクパネル アウター用
⑯	型紙 B・C	1	トランクパネル インナー用
⑰	トルクスボルト用ソケット	1	T-30 いじり止め用 お客様調整用
⑱	取付・取扱要領書	1	本書
⑲	GR リヤウイング取扱書	1	

※確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全て揃っていることを確認してください。

※⑰、⑱、⑲は作業後必ずお客様へお渡しください。

■ 構成部品図



取付上のご注意（取付作業の方へ）

作業を行う前に必ずお読みになり、安全で確実な取り付け作業を行ってください。

⚠ 警告

この内容に従わず、誤った取り付け・取り扱いを行うと生命の危険または、重大な傷害等を負う可能性がある内容について記載しています。

⚠ 注意

注意事項を守らないで、誤った取り付け・取り扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがある事を記載しています。



アドバイス

スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

⊘ やってはいけないこと

⚠ 必ず行なっていただくこと

⚠ 警告

- ⊘ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故や故障を招くおそれがありますので絶対に行わないでください。
- ⚠ 本商品の取り付け・交換は、該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。
- ⚠ 取り付け作業は規定トルクに従って、確実に締め付けてください。締め付けが不足すると脱落などにより重大な事故や故障を招くおそれがあります。

⚠ 注意

- ⚠ 車を障害物のない平らな場所に止め、エンジンを止めてパーキングブレーキを確実にかけてください。
- ⊘ 車載ジャッキを使用しての作業は危険なので絶対に行わないでください。
- ⚠ 車両が不安定な状態での作業は危険ですのでリジットラックなどを使い安全を確保してください。
- ⚠ 本商品の取り付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取り扱いを行ない、同時に取り付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行ってください。取り付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。
- ⚠ 本商品の取り付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取り付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。純正部品を再使用する場合がありますので、復元する際に間違えないよう配慮し、紛失しないように保管してください。
- ⊘ 本書で指示した部品以外は、取り外さないように注意してください。

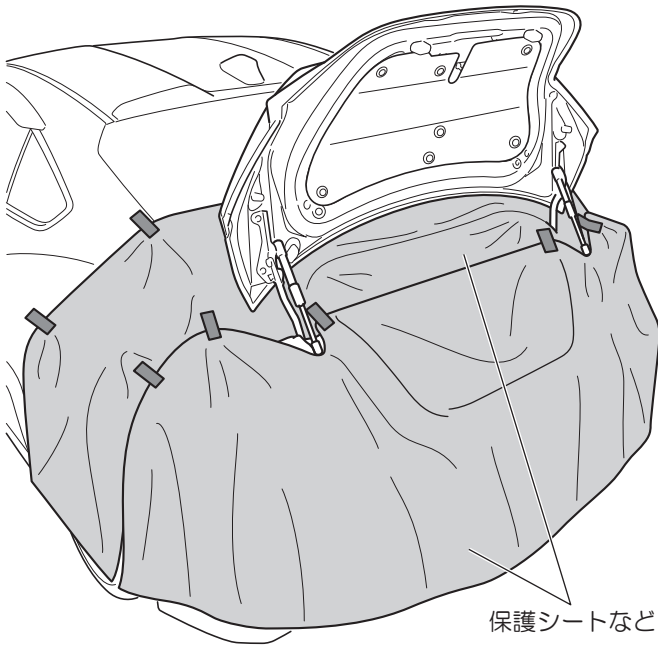
取り付けが終わったら

- ⚠ GR リヤウイングが、車両へ確実に取り付けされていることを確認してください。
- ⚠ 取り付け完了後、固定部分が指定トルクで締まっていることを再度点検してください。
- ⚠ 取り付け完了後、GR リヤウイング及び車両部品に傷がついていないことを点検してください。作業中にバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。
- ⚠ 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。当該車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、各部の点検・設定を行ってください。

■ 保証について

本商品は、1年・20,000kmの保証を実施致します。（1年または20,000km走行時点のいずれか早い方まで）
※保証の詳細はTRDパーツカタログサイト< <https://www.trdparts.jp/> >「保証について」をご覧ください。

図 1

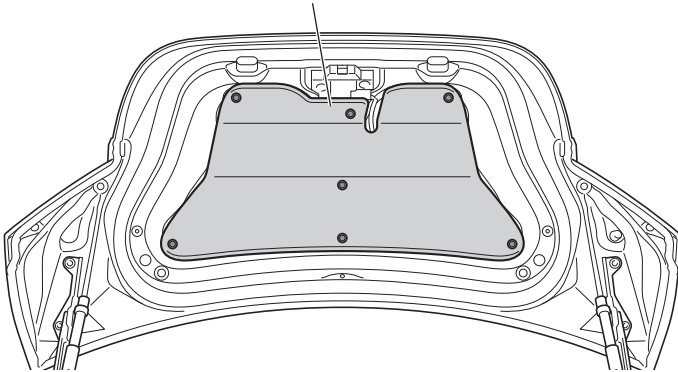


□ 取り付け前の準備

1. 車両を保護するため、トランクまわりを保護シートなどで養生する。

図 2

ラゲージコンパートメントドアカバー
(クリップ 7箇所)



□ 車両部品の取り外し

1. 車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、ラゲージコンパートメントドアカバーを取り外す。

□ 車両部品の加工

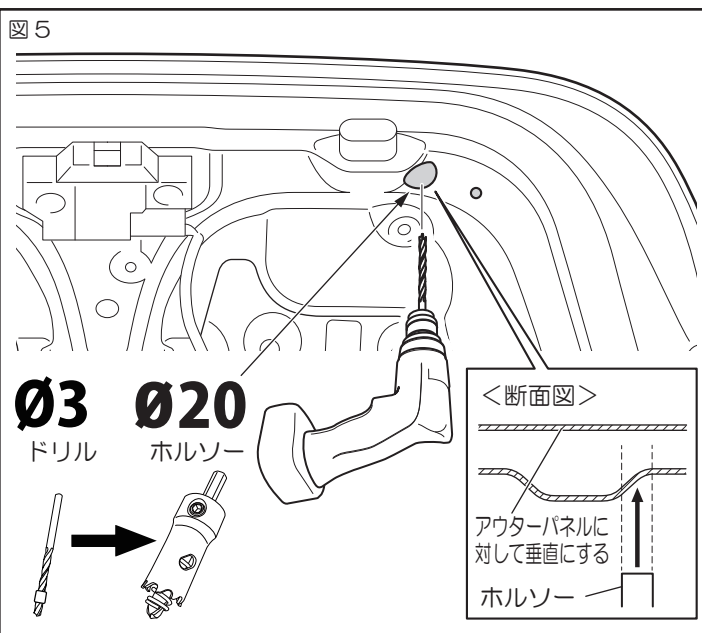
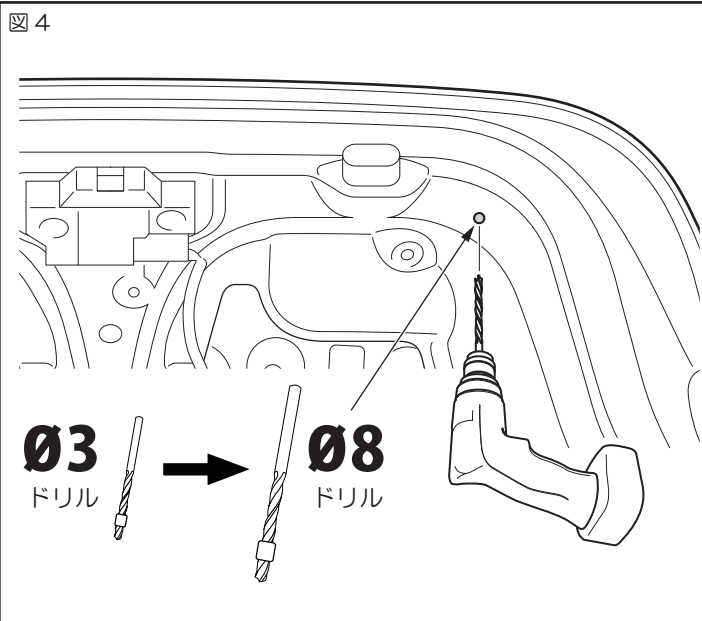
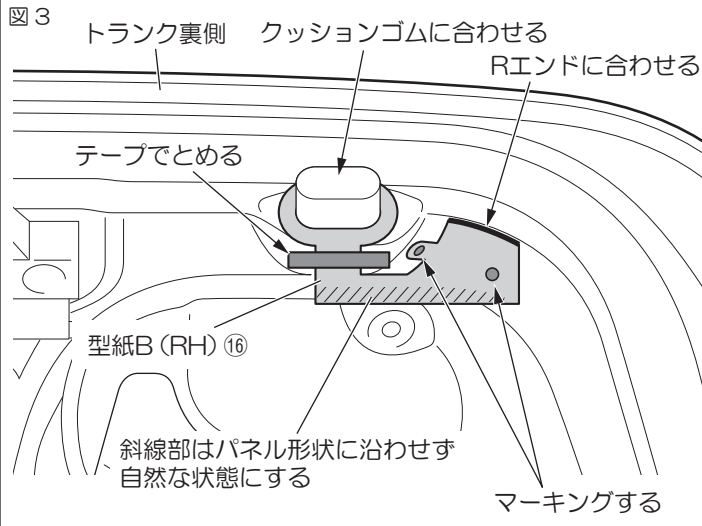
⚠ 注意

- 作業時は保護メガネを着用してください。
- バリを取り除く時には、穴径が大きくなるように注意して取り除いてください。



アドバイス

- 穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズれないように注意してください。
- 穴あけ加工時は集じん機などをあてがい、トランクパネル内部にキリ粉が飛散しないように、細心の注意を払い作業してください。
- サビの原因となりますので、穴あけ時に発生したキリ粉は、確実に取り除いてください。

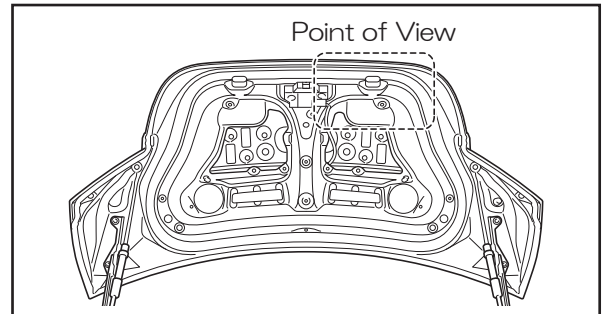


□ 穴あけ加工

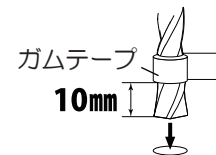
アドバイス

- 図は右側（運転席側）を示しています。作業は左右同様に行ってください。

1. 型紙 B ⑯を左図の位置に合わせ、穴あけ位置をマーキングする。



2. 下図を参照し、Ø3 と Ø8 のドリル先端から 10 mm の位置にストッパーとしてガムテープを巻き付ける。



3. マーキング位置に Ø3 で下穴をあける。
4. Ø8 のドリルで本穴をあけ、バリを取り除く。

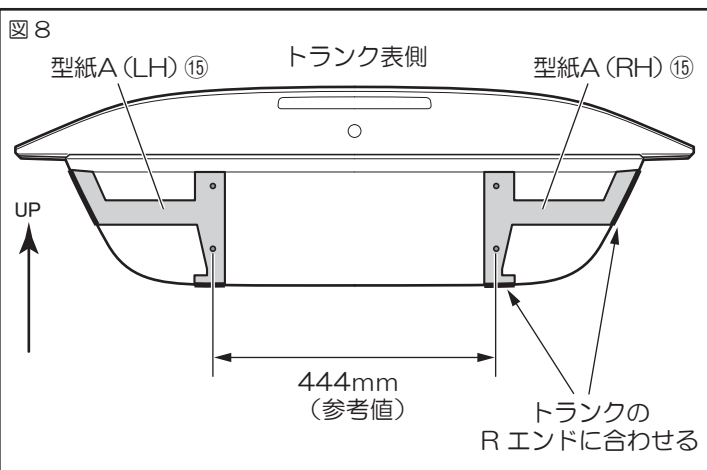
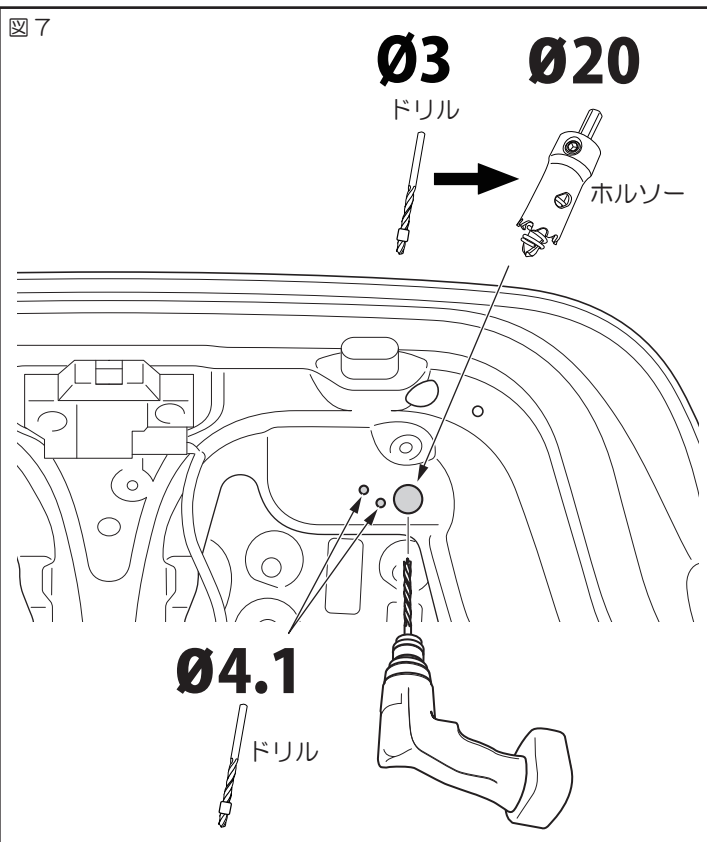
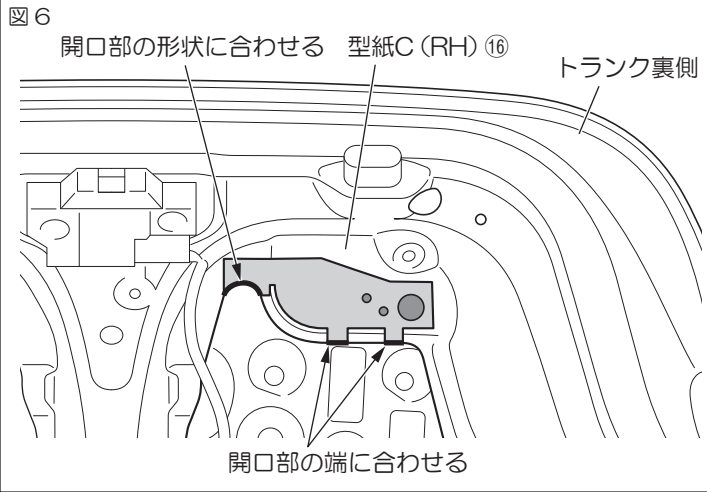
⚠ 注意

- 穴あけ加工は車両にキズをつけたり、ケガに十分注意して行ってください。穴のフチに出来たバリは丸ヤスリなどで取り除いてください。
- 下地が見える部分はタッチアップペイントでサビ止め処理を施します。

5. マーキング位置に Ø3 で下穴をあける。
6. Ø20 のホルソーで本穴をあけ、バリを取り除く。

⚠ 注意

- 穴あけ加工は車両にキズをつけたり、ケガに十分注意して行ってください。穴のフチに出来たバリは丸ヤスリなどで取り除いてください。
- 下地が見える部分はタッチアップペイントでサビ止め処理を施します。



7. 型紙 C ⑩をパネルの凹凸形状に沿わせながら左図の位置に合わせ、穴あけ位置をマーキングする。

⚠ 注意

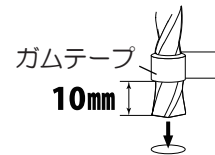
- 型紙はパネルから浮かないよう形状に沿わせてください。

8. 型紙 C ⑩を取り外す。

9. 左図を参照し、Ø20 のマーキング位置に Ø3 で下穴をあける。

10. Ø20 のホルソーで本穴をあけ、バリを取り除く。

11. 下図を参照し Ø4.1 のドリル先端から 10 mm の位置にストッパーとしてガムテープを巻き付ける。

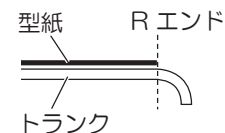


12. マーキング位置に Ø4.1 で本穴をあけ、バリを取り除く。

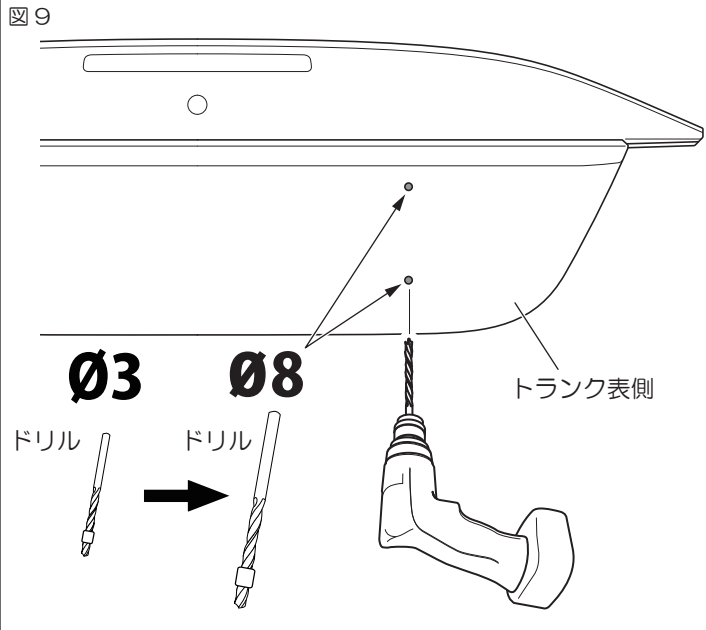
⚠ 注意

- 穴あけ加工は車両にキズをつけたり、ケガに十分注意して行ってください。穴のフチに出来たバリは丸ヤスリなどで取り除いてください。
- 下地が見える部分はタッチアップペイントでサビ止め処理を施します。

13. 型紙 A ⑮を左図の位置に合わせ、穴あけ位置をマーキングする。



14. 型紙 A ⑮を取り外す。

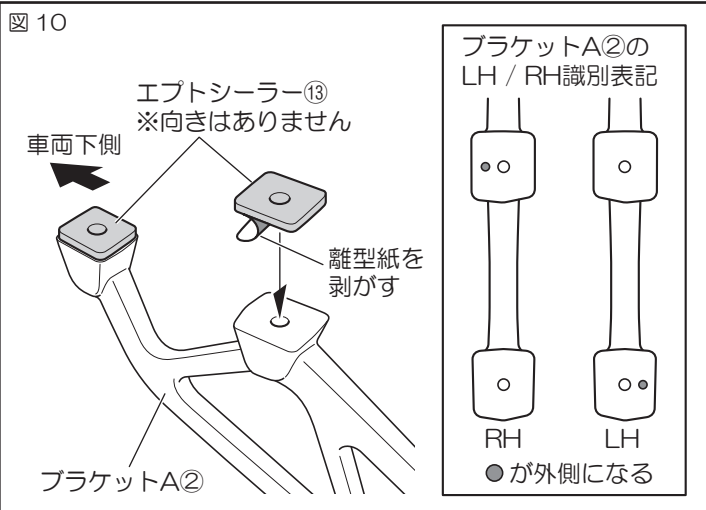


15. 左図を参照し、マーキング位置に Ø3 で下穴をあける。

16. Ø8 で本穴をあけ、バリを取り除く。

⚠ 注意

- 穴あけ加工は車両にキズをつけたり、ケガに十分注意して行ってください。穴のフチに出来たバリは丸ヤスリなどで取り除いてください。
- 下地が見える部分はタッチアップペイントでサビ止め処理を施します。



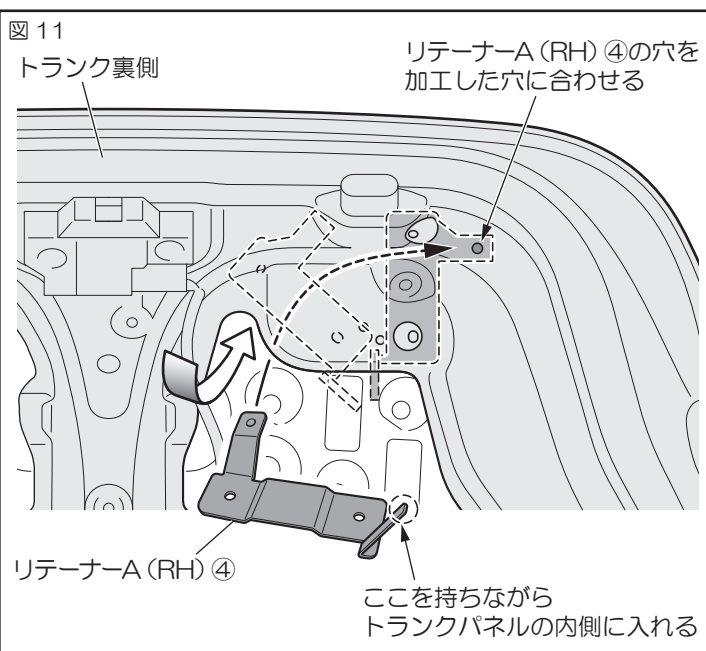
□ 各ブラケットの取り付け

1. ブラケット A ②のボディー接触面にエプトシーラー⑬を貼り付ける。



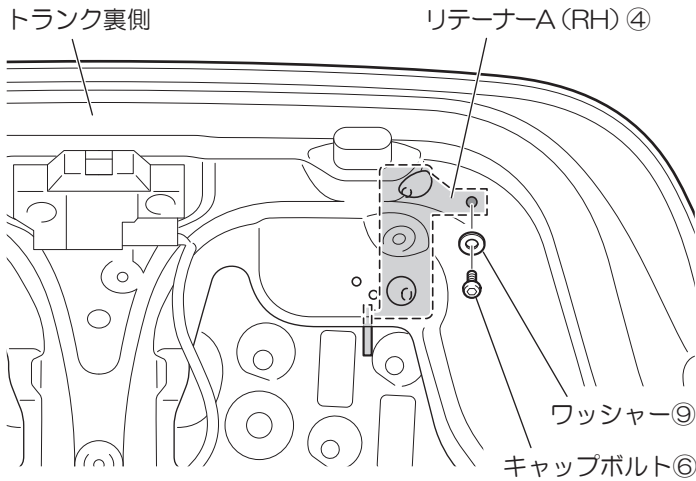
アドバイス

- エプトシーラー⑬は貼り付け面からはみ出ないようにしてください。



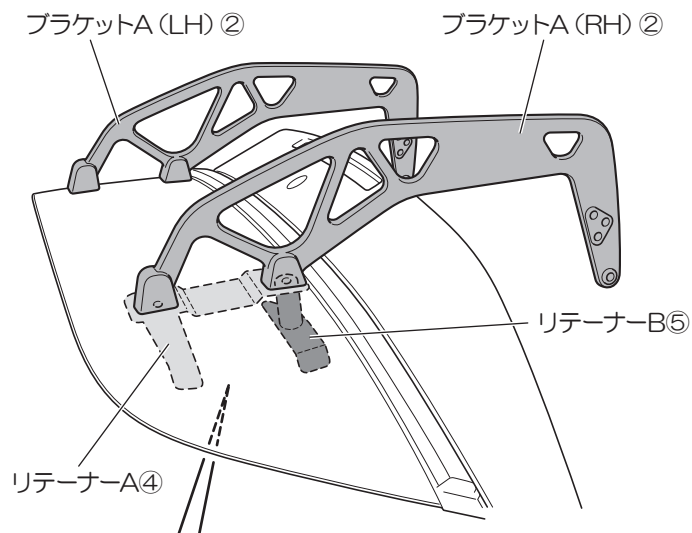
2. 左図を参照し、リテーナー A ④をトランクパネルの内側に差し込む。

図 12

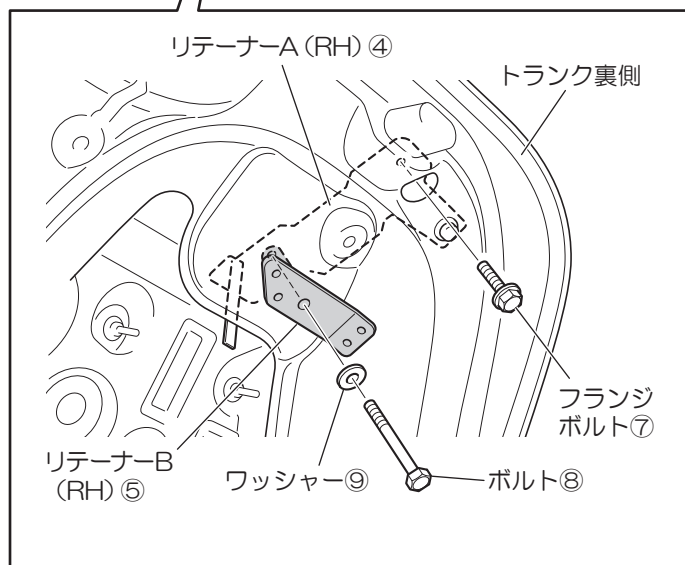


3. キャップボルト⑥とワッシャー⑨を使用して、リテナー A ④をトランク裏側に仮組みする。

図 13



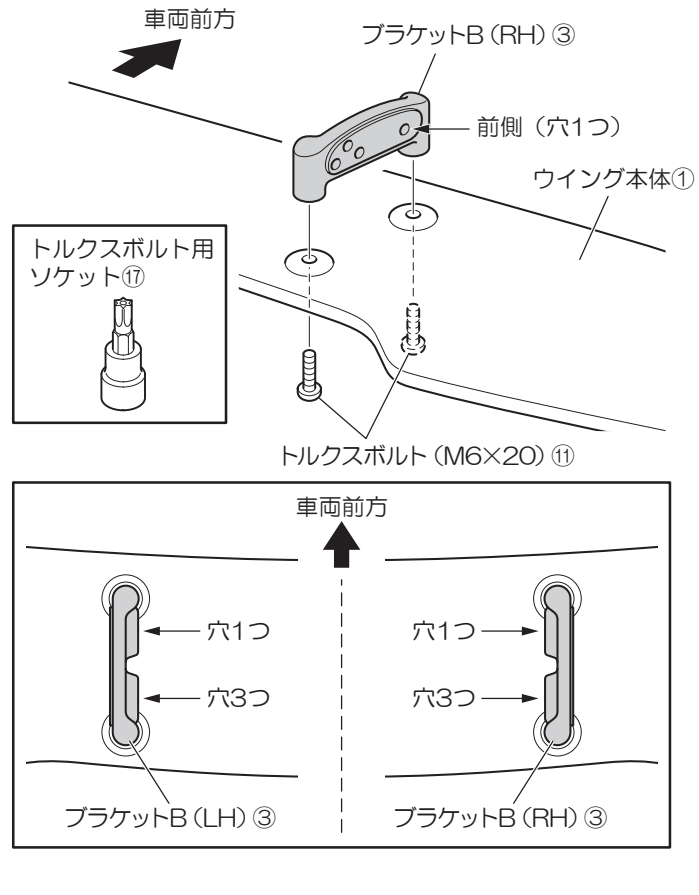
4. トランク表側にあけた穴とリテナー A ④の穴位置を確かめフランジボルト⑦を差し込み、ブラケット A ② (下側固定部) と仮組みする。
5. リテナー B ⑤を左図のように配置し、ボルト⑧とワッシャー⑨でブラケット A ② (上側固定部) と仮組みする。



アドバイス

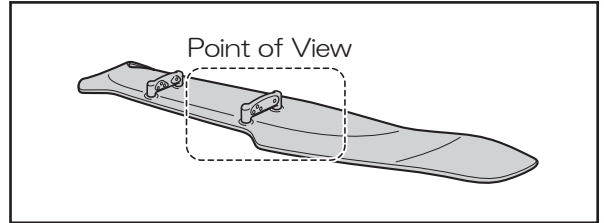
- トランクパネルの表側にあけた穴とリテナー A ④の穴を合わせながら先にボルトを通しておくと、ブラケット A ②を組み付けやすくなります。

図 14



□ ウイング本体の取り付け

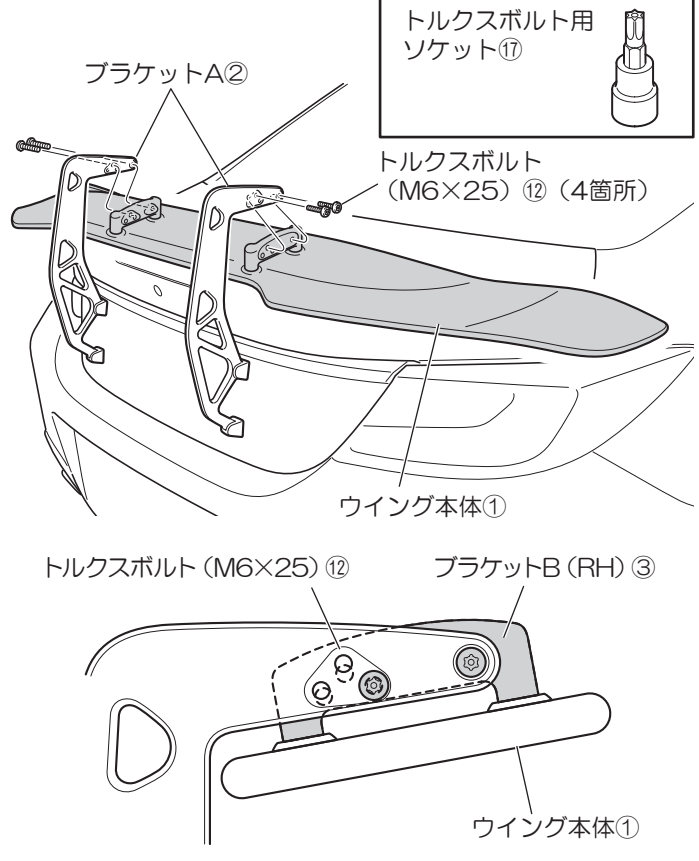
1. ブラケット B ③をトルクスボルト⑪でウイング本体①に仮固定する。



アドバイス

- トルクスボルトの締め付け（仮固定）には、付属のトルクスボルト用ソケット⑰を使用してください。

図 15



2. ウイング本体①に仮固定したブラケット B ③とブラケット A ②をトルクスボルト⑫で仮固定する。

ウイング本体①の角度調整について

角度	ブラケットB③の使用穴	
標準位置		→ 車両前方
ウイング 1.25°		→ 車両前方
ウイング 2.5°		→ 車両前方

図 16

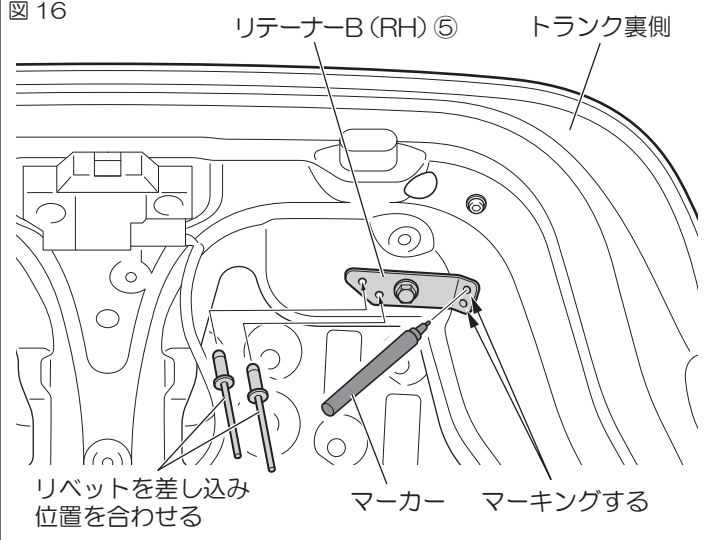


図 17

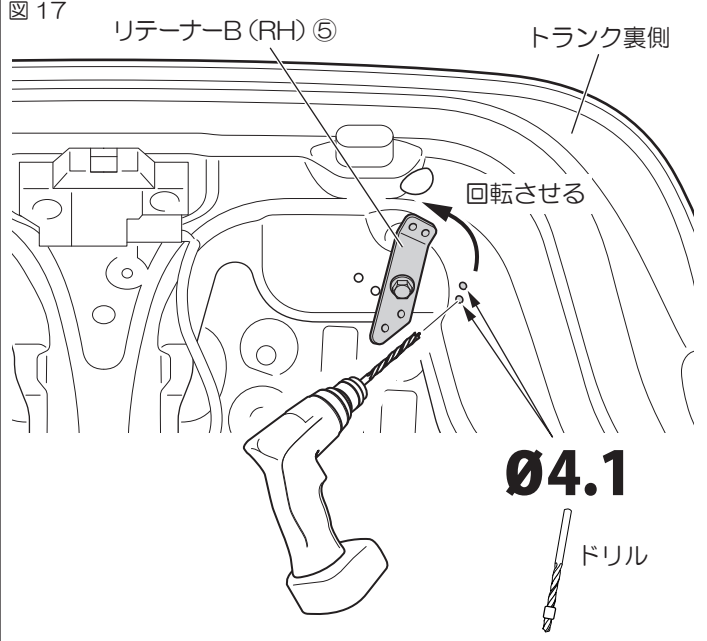
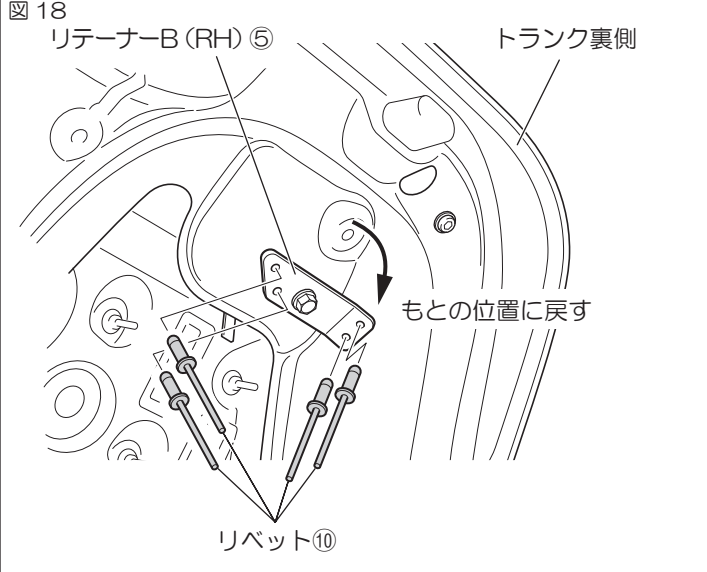


図 18



□ リテーナー B の固定

1. トランク裏側にあけた穴とリテーナー B ⑤の穴位置を合わせ、位置だしを正確にするためリベットを仮で差し込む。
2. リテーナー B ⑤の穴あけ位置 2箇所をマーカーでマーキングする。
3. 仮で差し込んでいたリベットを取り外す。
4. リテーナー B ⑤を固定しているボルト⑧を少しゆるめ図のように回転させる。
5. マーキング位置に $\phi 4.1$ で本穴をあけ、バリを取り除く。

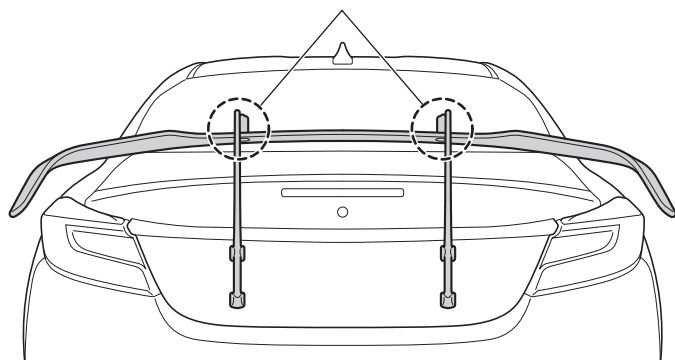
⚠ 注意

- 穴あけ加工は車両にキズをつけたり、ケガに十分注意して行ってください。穴のフチに出来たバリは丸ヤスリなどで取り除いてください。
- 下地が見える部分はタッチアップペイントでサビ止め処理を施します。

6. リテーナー B ⑤をもとの位置に戻し、リベット⑩で固定する。

図 19

トルクスボルト⑪、⑫ (8箇所)
[締め付けトルク: 5.0 N・m]



その他のボルト (計 6箇所)
[締め付けトルク: 8.0 N・m]

7. 上下左右のバランスなど取り付け状態を確認、仮締めしていたすべてのボルトを本締めする。

トルクスボルト⑪、⑫ (計 8箇所)

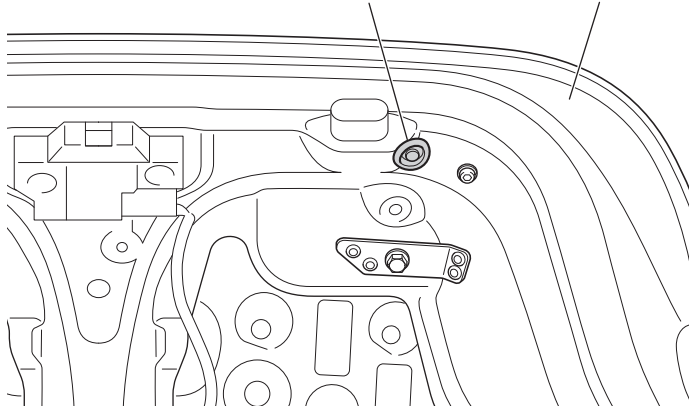
[締め付けトルク: 5.0 N・m]

その他のボルト (計 6箇所)

[締め付けトルク: 8.0 N・m]

図 20

ホールプラグ⑭ トランク裏側



□ 車両部品の復元

1. トランク裏側の $\phi 20$ の穴にホールプラグ⑭を取り付ける。



アドバイス

• ホールプラグはフチを押してはめ込んでください。

2. 車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、取り外していた車両部品の復元する。

■ 取り付け完了後の点検・注意事項

1. 製品全周に渡り、浮き・剥がれ等、無いことを確認してください。
2. 車両及び製品廻りに傷が付いていないことを確認してください。
3. 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。
4. 該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

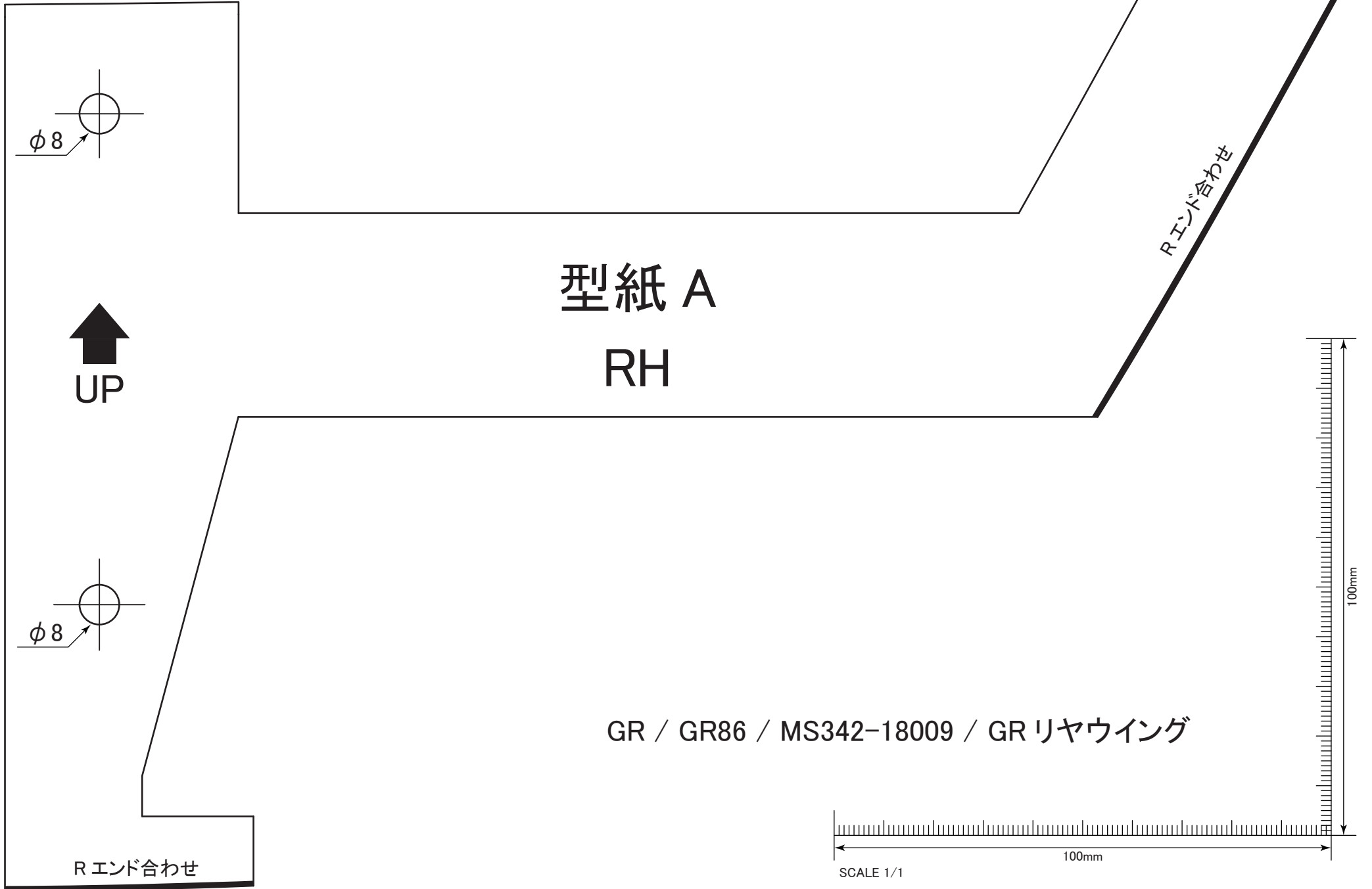
株式会社トヨタカスタマイジング&ディベロップメント

TRD商品問い合わせ窓口

TEL: 050-3161-2121

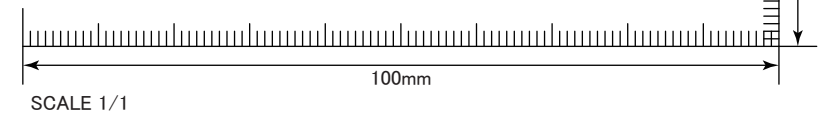
<https://www.trdparts.jp/>

MST5131AR-0001

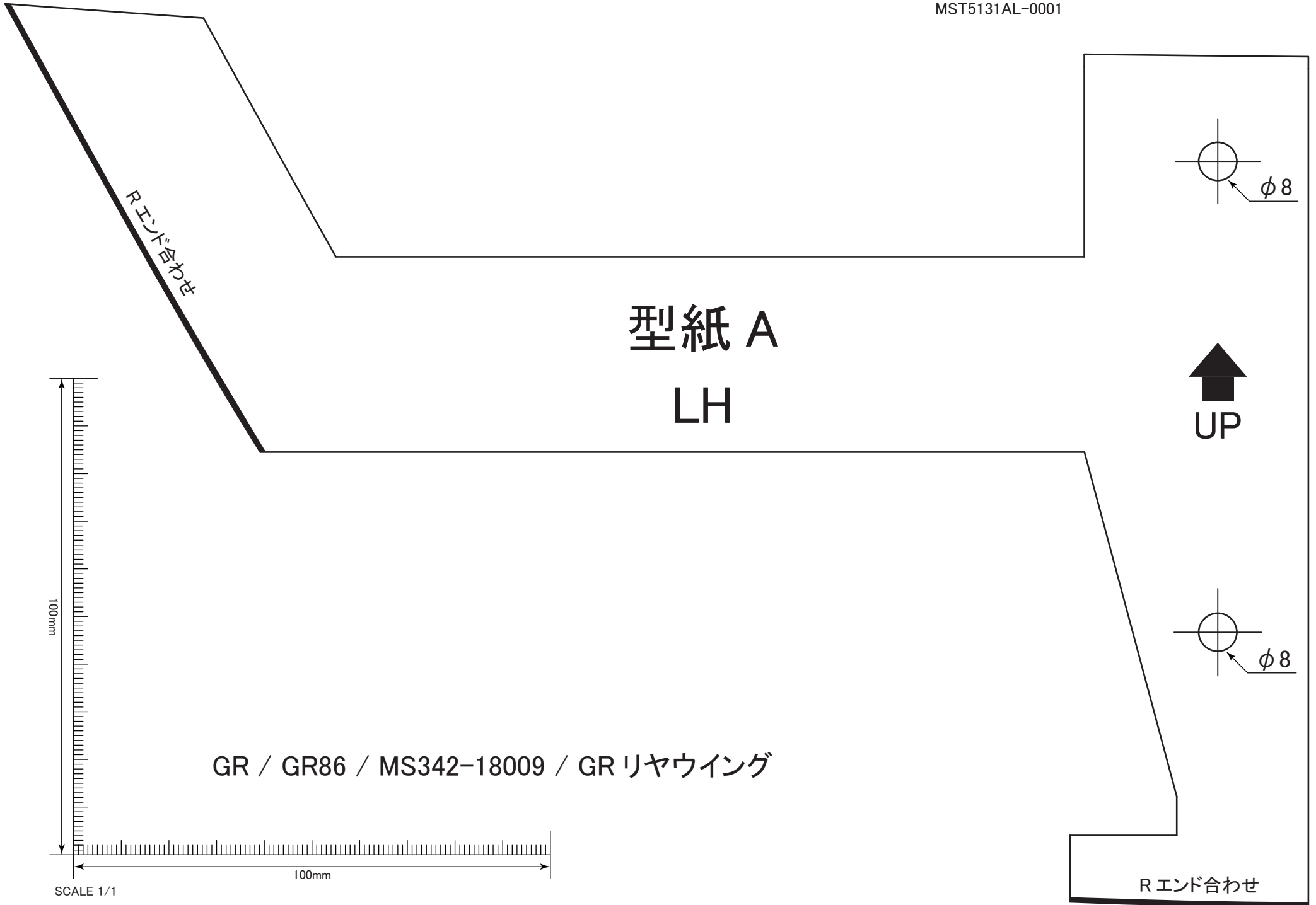


型紙 A
RH

GR / GR86 / MS342-18009 / GR リヤウイング

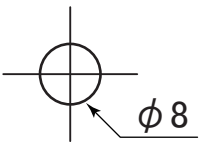


MST5131AL-0001

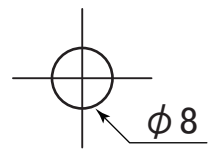


R エンド合わせ

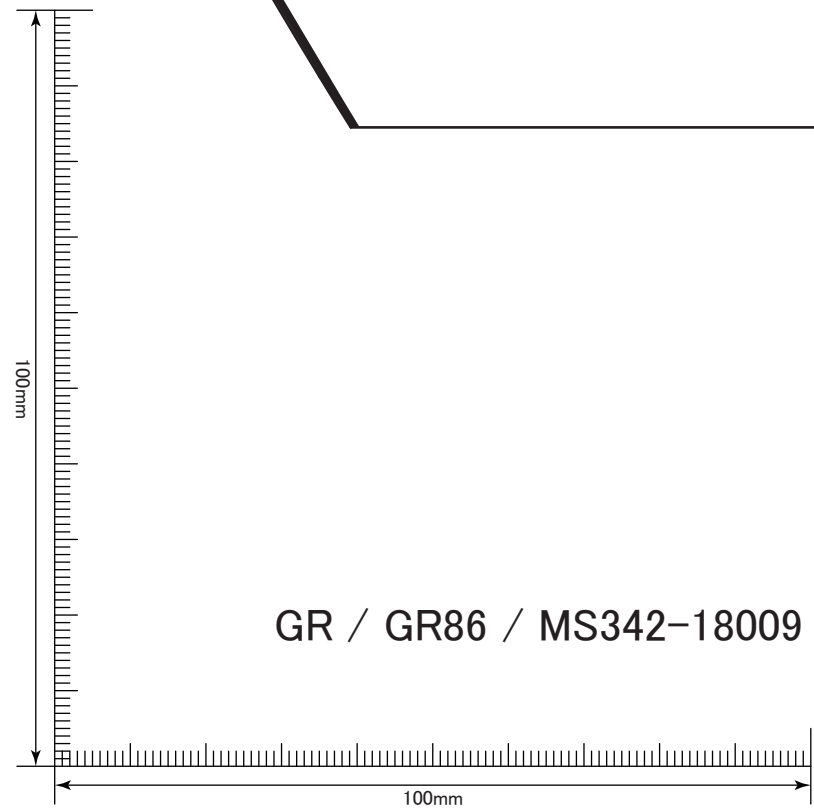
型紙 A
LH



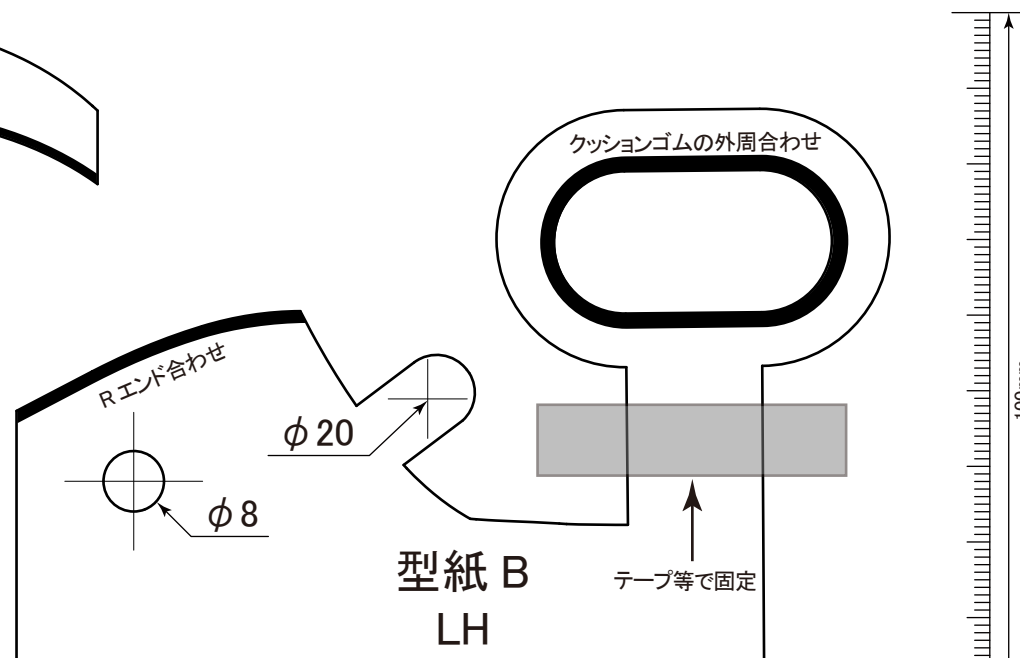
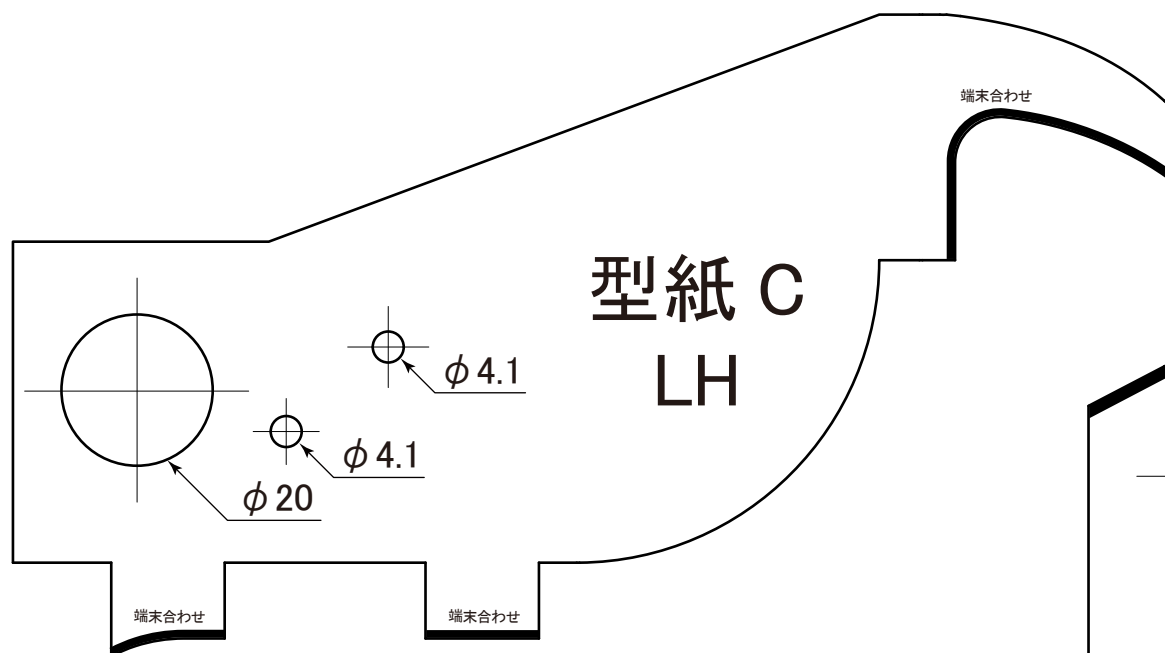
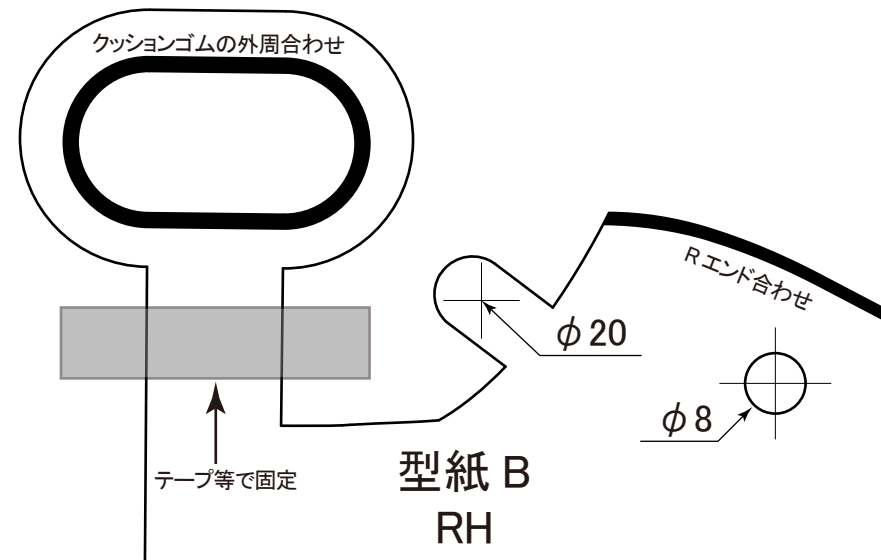
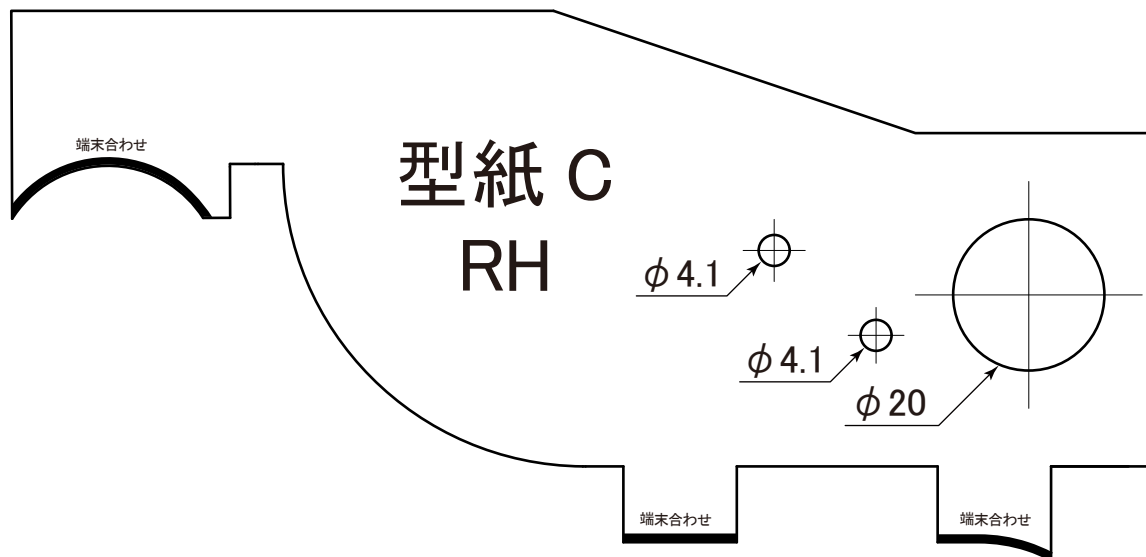
↑
UP



R エンド合わせ



GR / GR86 / MS342-18009 / GR リヤウイング



GR / GR86 / MS342-18009 / GR リヤウイング

